



秘

潜

事

入

事

入



ADULT ONLY

KIMETSU NO YAIBA  
UNOFFICIAL FANBOOK #06

富岡義勇 × 不死川実弥



■[成人向け] 鬼滅の刃非公式ファンブック

■これは二次創作CP本(富岡義勇×不死川実弥)です。独自ご都合設定あります。  
※原作・公式関係者様とは一切関係ありません。

人肌が恋しかったのか

いつからか  
任務後に体を  
重ねるようになった

日の光を避けるよう  
戸を閉めた暗がりの中

お互い感情はどこかへ  
置き去りにして……  
ただ互いの体だけを求める

まるで闇夜の

秘め事——







支障出たら...

困る...だろうが

ッ

はあ

はあ

任務に...

あッ

はあ



こんないやらしい姿を  
...お前は...誰かに  
...見せるのか?

アッ...

はあ

任務...??

はあ



関係ない?

ハアッ?!

あると言ってねえし  
...テメエには  
関係ねえだろうがッ

ンッ...

奥はっ...やめろッ

ああッ


はあ

はあ

はあ

はあ

はあ




……確かに  
そのとおりだが




ああッ

んあッ



あ……ア……ッ




俺以外の誰かが

俺の下で……  
こんな  
乱れるお前を

とみおかア

見るのか？



触れる度に  
俺のものだと叫びたい  
胸を抉られるような  
衝動が沸く……

何なんだ……？  
この深い間のような  
気持ちは……

気が向いた時だけ  
体を重ねる関係で  
しかないのに――

だから  
不死川が誰と  
何をしようと……

俺は……  
柱の不死川しか  
……知らない  
もっとお前を  
知りたい

鬼殺のためなら  
命も惜しまない  
常に効率的に動く  
柱たる不死川……

不死川のやり方に  
口を出す権利など……  
俺には……ない

痕を付けるなど  
言われたが……  
見えない所なら  
いいだろう……

今度こそ  
逃がすな！

追え！

この先は……

おい……

またここかよ！

行き止まりだし  
この館に逃げ込んる  
としか……館の主が  
匿ってんのか？

でも十日前の  
鬼とは姿が違ったわ

少なくとも二体は  
いるってことか  
主も鬼か……

人も何人か  
行方知れずにな  
ってるらしいし  
まさかここで  
嗅ってる？

鬼の気配を微かに  
感じるわね……

どうする？  
乗り込むか？

鬼だけならいいけど  
もし人質がいたら  
厄介じゃねえ？

まず屋間訪ねてみるか  
鬼なら出てこれないだろ

そうだな  
鬼の数も分からんし

じゃあ私が行こうか

いやお前はやめとけ

とりあえず  
俺らで行くか

風柱：そういうのに  
女使うの嫌いだよな

そーそー

怒ると  
怖ええし……

ふふっ  
分かったわ  
状況次第で  
報告しましょ

風柱 今朝  
任務地カラ  
戻ッタッ！





……風柱邸から  
出てきた？

あれは……?!

お昼前だけど  
少しだけお話  
させて貰おう……

遠征任務明けは柱でも  
十二鬼月が出なければ  
基本的に非番……

アッ  
アッ



いえ！ お茶頂いてました  
今朝お戻りになられたばかりで  
お休みの所……こちらこそ  
申し訳ありません！

すまねえ  
待たせたなァ

仲悪いつて聞いてるから  
また別の任務のお話かも……  
柱たち忙しいなあ……

やっぱり水柱様だわ

風柱様がお戻りになって  
すぐいらしたのかしら？

状況は理解した……  
鬼が逃げ込んでいる  
らしき館に行ったのが  
三日前の昼……  
館の主は屋間だが  
出てきた……

て招き入れられた  
隊士一人  
戻ってねえ……と

はい……それで今度は  
昨日の屋間に私が行って  
みたのですが嫌そうな顔を  
されて……門前払いで……

まさか一人で  
行ったのかア?!  
危険だろうが!

すすすすみません!!  
女の私なら中に  
入れるかと思って……

いやいや……鬼殺のほう  
危険です……  
風柱様優しいのに  
誤解招くんだよなあ

もっと自分を  
大事にしろォ

まあいい……  
報告ご苦労さん  
この件は俺が動く

すぐに対応できなくて  
悪かったなあ……  
見張りの隊士にも  
手を引けと伝えてくれ

分かりました  
ありがとうございます  
ごさいます  
心強い!

遠征から  
戻ったばかりで  
……少しお休みに  
なられては

富岡様も  
いらして  
ましたし?

あーそっちは  
問題ねえよ

それより急ぎ  
二、三調べてくれ

ああ今夜動きてエ  
……おそらく  
悠長なこと  
言ってられねえ

お疲れでなければ  
いいんですがね……  
今の件……そんなに  
急ぎます?

承知しました  
でも話からすると  
主は「人」ですよな?

ああ……

氣イ回しすぎだア



だから俺が行く…

流石早えなア  
助かる

風柱様が言ったとおりで  
よく若い男といるのを  
目撃されてます

いえいえ  
エヘン

そのとおりです!

声を掛ける  
場所もありました  
それ地図です

館で一人暮らし  
らしいですよ

まア表向きは  
そうだろうなア



風柱様!

他に何か準備するもの  
ありますか?

いや十分だ  
必要なものは  
もう揃えた

この後  
宇髄の所へ行く

音柱様の  
お屋敷ですか?

ああ…奴に  
頼むのが  
手っ取り早エ

そのまま  
任務に出る

承知しました  
お気をつけて



ガウガウ

あの男だな……

にににっ

ににに

見ない顔だ……  
珍しい色の髪だね

……今から  
私とどうだい？

へえ？

楽しませて  
くれんの？

フフ……満足して  
くれると思うよ  
肌も腫も綺麗だね……

嫌な感じはするが……  
……気配は鬼じゃねえ  
血鬼術でもなさそうだ

随分大きな  
屋敷ですね……

まあ一人で住むには  
大きいが……

フフ……だろう？  
洋館が珍しいかな

音は気に  
しないでいい

……そりゃ  
好都合……

つまり泣こうが  
喚こうが  
誰も気づかぬえ

あーまあ……

二……

上の階の鬼は  
……数体  
まア雑魚だな

……人の気配も  
あるつてこたア  
もしかすると

下の強めな鬼の気配は  
その奥からか……

おいおい  
また男かよ

?!っ……おいッ!

俺も「あいつら」みてえに  
女を喚いに外に  
出てえなあ

おい！ 黙れ！

三日前も  
男だしなあ……

三日前





あ

……男もまだ……あ……  
居るんじゃないの？

んッ

あッ

……？ ああ……彼は  
私好みではなくてね……  
さっきの男が欲しいと  
いうからあげたよ

はぁ

はぁ

……っ



傷は惜しいが  
滑らかな肌だ……

色気もある……

痕もたやすく  
付く……いいね

んッ……三日前  
来たっていう……



クソ……すぐに  
喰わせたのか？

人の気配もあるが  
……すまねえ

あ

おや……

はあッ



俺が別任務をもっと  
早く終わらせてりや

もうこんなに張り  
詰めてぬるぬるだ……  
気持ち良いんだね  
私も興奮する……

……イかせて  
あげよう

あッ

……ふ……うッ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

んッ

グキョッ

グキョッ

はぁ



……なんでデメエがここに居る?!

偶然だ  
気にするな

……ハア? テメエも来るだどオ?  
勝手にすりゃアいいが……  
……合図するまで邪魔すんなよ

……甘い声……  
任務とは云え

独占欲の強い

俺以外の男に……  
どんな顔を見せている?

おやおや……これは随分と……フフ

……男に抱かれたね





またたくさん  
出たな……

お前……家族は？

あッ

あッ

あ……

……弟や妹が  
いる……

喰わせても  
騒ぐ者がいないか  
確認はしてるのか……

ほう……



本当にいい顔をする  
お前……今まで……  
どれだけの男を  
惑わした……？

あッ

男を抱くのも  
……今までの様子じゃ  
鬼に齧られてる……は  
……ほほえな……



……人か？ 変な一氣が  
混じる……鬼なら迷わず  
速攻で首を落とすが……

「人間」なら話は別だ  
俺たち鬼殺隊は  
手が出せねえ……

……  
こんなに乳首を  
ツンとさせて

ハッ  
ハッ  
ハッ

あ……あッ

どんなに胸クソ悪い  
クズだとしても……

全くいやらしい……

んっ



乳首も開発済みか...

ふふふ：感じやすい  
イイ体をしている

ンッ

ひあっ

はあっ

あ...

ああっ

ああ.....  
いい顔だ...



さっき.....んっ...  
の奴以外にも.....

なア...

俺を.....あっ  
喰わせ.....んのか?

あっ

んあッ



ん？ ああ...

あれはそういう  
意味ではないが.....  
「奴ら」には...やらん  
お前は私のものにする

デメエと違い鬼にとつて  
「喰う」は本当に食事.....  
抱いて飽きたら喰わせて  
証拠隠滅か.....

何だ...？お前...甘い...  
匂い...ああ興奮する...  
もう...いいだろう...

あっ  
.....こいつ僅かだが  
.....俺の血の匂いに  
反応してねえか？



……突っ込む前に

訊きてエんだが……

興奮しすぎ……  
そろそろ  
喋るだろ



ココが欲しがって  
ヒクついでる

ひく

ンツ

ヒク

かわいいな……



私のコレで奥まで  
突いてやろう  
……最高だぞ



飲んでるよなア

鬼の血を……

アンタ……

グッ

……鬼……

……それが……  
……どうした？

だが私は鬼には  
なれなかった  
のだよ……

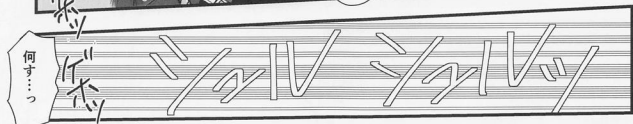


お前何してっ



いや……違うな

……そりゃ  
教えねえなア





一体何なんだ！  
いきなり  
お前はっ！

……俺のものに  
汚い手で触るな

お…お前のだと？！  
私に可愛いがられて  
気持ち良さそうに  
鳴っていたぞ！

ハア？ 勘違いすんなア  
別に……テメエに

感じてたわけじゃねえ

このすました  
いけ好かねえ野郎の

心外だな

ツラを思い浮かべてた  
だけだア

いつもぐちゃぐちゃに  
されてるんで……

……

その体で  
戦えるのか

しっけえっ

……本当だな

馬鹿にするな  
クソが……  
何ともねえよ

心配したぞ

不死川……

ズクンズクン

……っ

まさかっ

お前達が  
鬼殺隊とか  
いう……?!

おオ:  
名前は  
聞いてたかア

じゃあ  
分かるよなア?

俺の……首は  
取れないぞッ!

おっ……俺はッ  
鬼ではない  
からなッ!

まだ……  
完全にはなア

……あんた  
俺の稀血に対して  
興奮してたよなア

まだ喰いたいとは思  
わねえらしいが  
いつ鬼化が進むとも  
限らねえ

わ……っ私は悪くないっ  
逃げようとしたからッ

なあソレ……オレが  
喚んでやろうか?

その代わり  
鬼殺隊つてのから  
戻ってくれよ

お前は好きに連れ  
込めみやあいい  
あとは証拠が  
残らねえよう  
喚んでやるからさあ

抱いて飽きた男達を  
鬼に喰わせてたんだろ  
鬼との交換条件か?



それに……  
ここでテメエの手を  
汚すこともねエ

まだ斬れねえよ  
話聞いて胸クソ悪いのは  
分かるが……



…ねえなア

証拠はあるのか?!

不死川……

これは人か?  
斬ってしまったのは  
駄目だろうか



ご馳走が欲しいのか  
見事に沸いてくらア

不死川は食物では  
ない不快だ

がぁあッ  
まれちく  
まれちく

今斬るべき鬼は  
別にいる——

だが俺達は  
鬼殺隊で柱  
お館様の命は  
鬼を斬ること

それに……  
テメエは  
知らねエかも  
しれねえが

こういう……  
やってることは  
鬼と変わらねえ  
非道な奴もなア

残念だが  
治安に関係なく  
どこにでも  
居るんだよ……





ハハツ水柱様は  
面倒くせえなア

努力すらア!

……建物は壊すなよ

お前こそ  
寝台を壊した

オイ壁に傷が  
付いてるぜえ

ありやア  
わざとだ

そうか……  
俺が壊す手間が  
省けたな

ハハツ!  
嫌いじゃねえな  
そういうとは!



館の主が連れ込んだ  
若い男より

女を喰いたい鬼が  
夜な夜な町へと  
出歩いていた

鬼にも食欲の  
ない時があるらしく

館の主は鬼の血の  
影響が出にくい  
体質のようで  
お館様預かりと  
なったが――

自ら欲して鬼の血を  
摂取しているのは間違いない  
鬼化が進めば陽の光で  
滅ぶとのことだ

何人かの者は  
まだ喰われず  
一部屋に閉じ込め  
られていた

衰弱していたが  
幸運なことに  
例の隊士は  
まだ喰われずにいた

喰われそうに  
なっていたところ  
鬼が「稀血」と叫んで  
部屋を出たようだ

救える命は  
救うことが  
できた――

任務完了

流石に  
三徹は……  
少し寝るか

屋敷に戻らア  
後は頼む

はい風柱様！

待て……



……富岡

この後いいか

傷を消した  
綺麗な顔――

……不死川



微かな怒気……

……

……いいぜえ



俺が抱くことくらい  
分かっていただろう

んっ

……ッ

待て

触るな

おい

あの男に

入れさせたのか

あッ

ガッ  
ガッ  
ガッ



ここにも……

ふ……っあ

……富……おか  
待て……

何処をどういふ風に  
触らせたんだ？

ここまで？

ぐずぐずだな

クソッ……んッ

突っ込まれて  
ねえよッ

ああッ

とんくらっ♡

……そうか

ホッ

柔らかい……  
すぐ入るな

っあ……うああッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

あッ

あッ

んあッ

とみ

……おかッ





しなずがわ……

あッ

は……

(ま)

スッ  
スッ  
スッ  
スッ  
スッ

あぁッ

はあ

何故……

痕を付けたがる  
雷岡……

(は)

はあ

んっ

♡♡♡♡♡

はあ



ダメだ……  
気持ちいい

あッ

(ま)

もっ……  
出るッ

(は)

ヒクッ  
ヒクッ  
ヒクッ

ンッ

(は)

あッ……

不死川ッ

あッ

はあ

はあ

あッ

ヒクッ  
ヒクッ  
ヒクッ

富岡を最奥まで  
受け入れると

ただ気持ち良くて

体中を駆け巡る  
甘い痺れに  
頭が真っ白になる

奥っ……っ

あ

あ

んっ

ア……んっ

はしたなくも富岡が  
もっと欲しくなつて

不死川……

声を聞くだけで  
ぞくぞくして

あっ

抱かれていると  
一瞬でも鬼狩りの  
自分を忘れそうに  
なるのが怖い――

欲しくて  
堪らなくなるのは

体の相性が  
いいせいでと  
言い聞かせた



出すぞッ



ナカに……

ああーッ

ち……  
出ねえのに

はっ

また……



不死川……

あっ

……イクッ

んっーっ



……



俺ではない……

奴の——



ッ！ 富岡  
テメエ  
何す……ッ

おかしいぞ  
テメエ……

おかしい……？

そうか……  
そうだな



そのとおりだ

俺はおかしいの  
かもしれない

俺はお前が





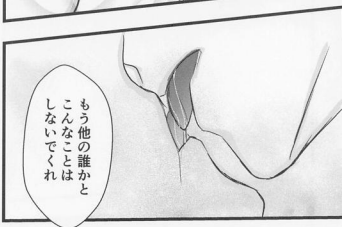
……俺だけに  
してくれ



とみ……

欲しくて  
堪らない

……おか?



もう他の誰かと  
こんなことは  
しないでくれ




んっ

今まで  
何度も体を  
重ねてきたが

口づけを交わしたのは  
この時が初めてで

唇から伝わる熱が  
思った以上に  
心地良くて


貪るように  
お互いを  
求めた……



鬼を狩れば鬼に  
傷つけられる人が  
一人でも減る

母を殺めてからは  
感情を殺して  
鬼狩りに生きてきた

この身が傷つこうが  
血を流そうが  
鬼を殲滅できれば  
それでいい——



それはこれからも  
変わらねえが——  
俺を欲しいという

テメエに抱かれるのが

一番気持ちいいぜ？



富岡ア……

……っ



それなら……

っ……不死川

勘違いするな  
……あんなこと  
毎回してる  
わけじゃねえ

約束はできねえな

だが俺達は  
鬼殺隊の「柱」だ



何をおいても  
鬼狩りとしての  
任務を全うする

テメェも  
分かってる  
だろうが



こんな  
傷だらけの  
俺の……

どこが  
気に入ったのか  
知らねえが

ド  
ザッ

不死川？

まあ……  
抱かれるのは

テメエだけに  
してやるよ

……………  
そうしてくれ

言葉にできない  
想いは

夜の間に  
溶かして――

秘めたまま



## 闇夜の秘め事

富岡義勇×不死川実弥  
鬼滅の刃 非公式FANBOOK

発行

GLACIER 東城亜矢

pixivID : 8023993

Twitter:@AyaGlacier

2022/10/16

印刷

太陽出版様

表紙デザイン

UCHUgDesign/日野かじおさま

@UCHUg\_design

两片想い現役輪ぎゆさね  
お読みくださり  
ありがとうございました！  
囲をする色っぽい実弥は  
描いていて楽しかったです。  
表紙デザイン、仄暗さと  
色気が滲んで素敵に^^

ましゅまる

ひと言でも感想頂けると励みになります！



※以下、禁止します

無断転載、複写、データ化、ネットオークション  
高校生を含む18歳未満の閲覧、購入

秘閣  
友力  
事力

*Amegoto*  
*Yoriki*  
*Yoriki*

**GLACIER** PRESENTS

2022.10.16